

プラブロック掩体



特長

プラスチック部材で本体を構築し、上部・前面をパネル、側面を側板・土木シートで構築する掩体です。

① 超軽量

プラスチックで本体を構築しているので、軽量です。

② 固定金具が不要

部材の爪同士の嵌合のみで堅牢強固な構造体を構築できます。

③ 様々な形状に対応可能

必要なブロック数は形状に合わせて算定可能で、資材見積も容易です。

④ 高強度・耐衝撃性能

保護に使用するパネルは、強固な強度・耐衝撃性能を有しています。

標準規格

● 構成部材の諸元等

プラブロック（計 8 部材、下記は嵌合姿）

① 本体嵌合 ② 本体1/2嵌合 ③ 本体1/4嵌合



A: 嵌合重量: 10.6 kg



B: 嵌合重量: 4.4 kg



C: 嵌合重量: 2.0 kg

小型の場合の主要部材数・総重量

プラ部材	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
名称	本体フル	本体1/2	本体1/4A	本体1/4B	天地板フル	天地板1/2	天地板1/4	側板
幅(mm)	580	580	221	221	580	580	221	560
縦(mm)	580	221	221	221	580	221	221	281
高(mm)	350	350	350	350	70	70	70	97
重量(kg)	5.3	2.2	1.0	1.0	2.9	1.2	0.6	0.8
枚数	60	112	8	8	15	28	4	120
重量計	318	247	8	8	44	34	3	96

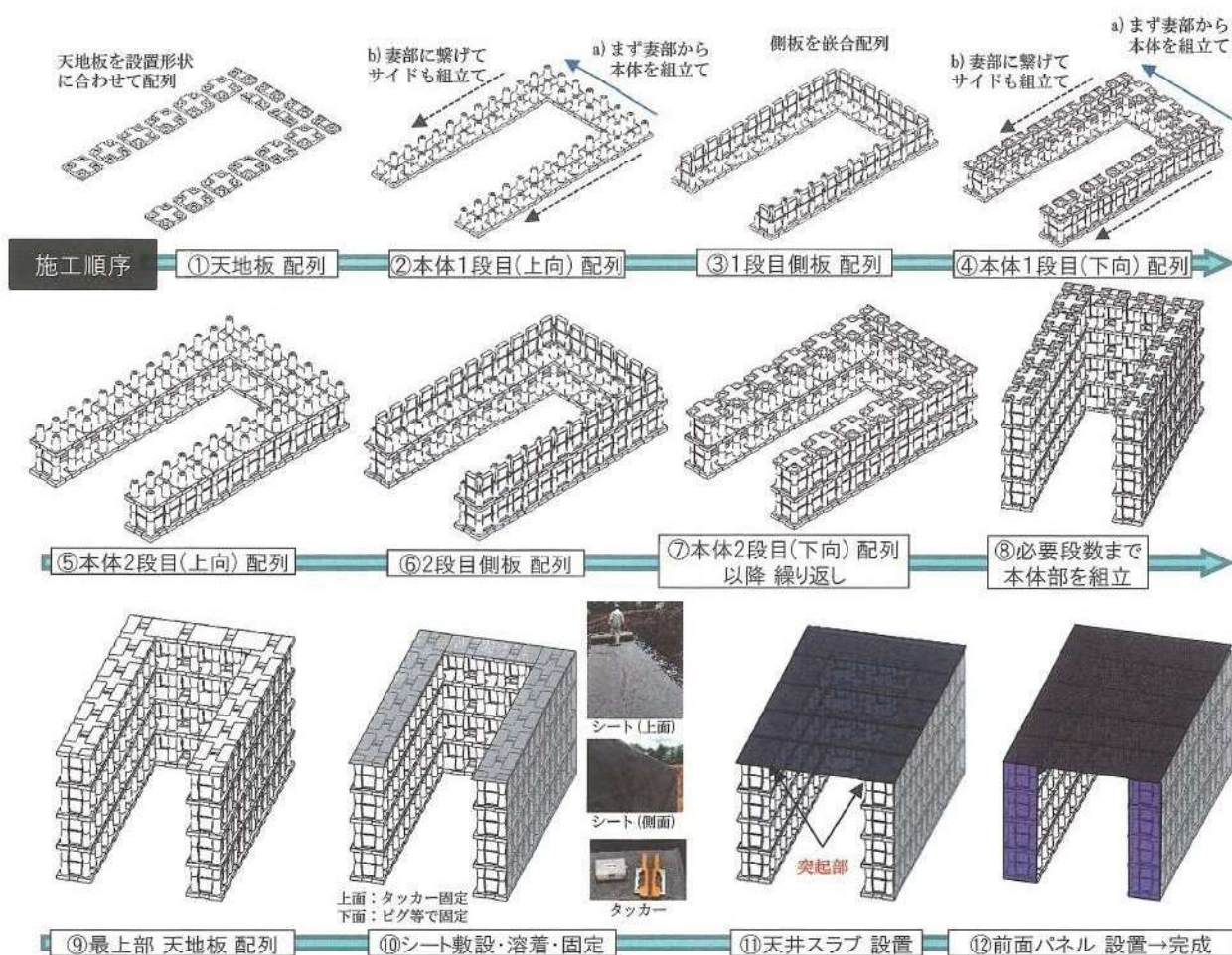
プラスチックブロック
小計 758 kg

基礎部構築

ブルドーザー等による粗整地後に経始。砂などを使用して、構築物のサイドと妻部の不陸を小さくする。化粧コンパネ板等を仮敷設してレベルを出すと、その後の作業の迅速性が向上する。

妻部／本体部構築／シート固定／天井スラブ／前面パネル

- ① 経始線に基づき、妻部とサイドの天地板を形状に合わせて配列する。
- ② a) 妻部の天地板に噛み合わせるように本体ブロック 1 段目を嵌合配置する。
b) 妻部を起点にして、全体の歪みがないか確認しつつ両サイドの本体ブロックを嵌合配置する。
- ③ 本体ブロックに側板を嵌合配列する。
- ④ 側板を柱部で挟み込むように本体ブロックを嵌合させて 1 段目を組み立てる。
- ⑤ 引き続き、本体 2 段目を同様に配列する。
1 段目で歪みが生じなければ、以降の組み立て作業の迅速性が向上する。
- ⑥ ③と同様に、本体ブロックを組み合わせる際に、側板を嵌合配列する。
- ⑦ 側板を柱部で挟み込むように本体ブロックを組み立てる。(以降⑤～⑦を繰り返す)
- ⑧ 必要段数まで組み立てる。
- ⑨ 最上段に天地版を嵌合配列する。
- ⑩ 前面を除く外周部に長繊維不織布を敷設し、ガストーチで溶着し、上部はタッカーで固定する。
- ⑪ スラブをブラ構造体の天井部にクレーンで据え付ける。
天井スラブの突起形状によって、ブラ構造体の側面部の倒れ防止を兼ねる。
- ⑫ 前面にパネルをボルト等で固定し、完成。



ブラブロック製造元

天昇電気工業株式会社 本社営業部
〒154-0012
東京都世田谷区駒沢1丁目16番7号 駒沢中村ビル4階
TEL:03-6268-8363 FAX:03-6268-8364
URL:www.tensho-plastic.co.jp

ブラブロック販売元

株式会社日本理化インダストリーズ
〒140-8503
東京都品川区大井1丁目20番6号
TEL:03-3771-0174 FAX:03-3777-1319
URL:www.nipponrika.jp